



酒匂の清流

令和3年7月1日(木)発行

校長 津田 将美

雨と あそべば

1年生の生活科で、「あめとあそぼう」という学習があります。雨の音を聞くなどの活動を通して、雨の日の活動の楽しさや、雨の日ならではの自然とのふれあいに気づくことをねらいとしています。6月16日(水)の3, 4校時に、この授業が行われました。

実はこの日の生活科は2案あって、雨が降らなければ河川敷のグラウンドに行って、「みんなであそぼう」という学習を行う予定でした。降るか降らないか微妙な空模様でしたので、担任も天気予報とにらめっこをしながら、判断に迷っていました。

私も心配になって中休みに外に出てみると、1年生の子どもたちも多く出て、空を見上げていました。きっと、外で思いっきり遊びたいだろうな…と思い、

「雨、降らないといいねえ。」

などと子どもたちといっしょに空を見上げていると、ポツリポツリと降り出してきました。

担任の判断は、とても早かったです。まだ、うらめしげに空を見上げている私に、
「雨で遊びます。」

と、はっきり伝えてきました。

子どもたちの切り替えも早かったです。さっそうと家から用意してきたレインコートを着たり、色とりどりの傘を持ったりして、雨の遊ぶ準備も整いました。

学校で準備したものは、洗濯用のたらいやボール、ビニールシートなど、雨の音を感じるものでした。しかし、相変わらず雨はポツリポツリで、しっかりとした雨音は伝わってきません。それでも、子どもたちは健気にも、いろいろな道具を使い分けて、雨の音を感じようとしていました。

「雨、もっと降ってくるといいねえ…。」

先ほどとまったく逆のことを子どもたちに言っていることに気づいて、心の中で苦笑していましたが、幸い、しばらくすると雨足は強くなってきました。

子どもたちの対応力、想像力はすばらしかったです。

頭の上に、ボールをのせて雨を感じる子。

傘を使って、雨水を友達と協力して集める子。

大きなたらいを並べて、雨音と共にドラムの演奏をする子。

水を集めているチームの子は、もっと集めたいという願いを友達と共有しながら、水たまりの水も集め始めました。水がにごっていても、気にしません。いろいろな条件下でためられた雨を集めること自体に、達成感をもっているようでした。雨でぬれたマスク越しの顔がきらきらと輝いていました。

「校長先生、雨で遊ぶのって楽しいね。」

「本当に、そうだね。家でもできるといいね。」

「家でこれをやると、しかられるよ。」

そりゃ、そうですよね。でもたまには、雨にぬれるつもりで外に出て、雨の遊びを楽しむのもいいのかな、なんて思いました。

家に帰って、このことを妻に話したら、

「誰が洗濯すると思っているの。」

と、私がしかられました。



学校公開、ありがとうございました

6月19日（土）に、今年度1回目の学校公開が行われました。4月の授業参観は中止とさせていただきますが、今回は3、4時間目の分散参観という形で開催させていただきました。限られた環境の中ではありますが、多くの方にご参観いただき、全校で93%の参加率となりました。多くの保護者の皆様に、実際に子どもたちの学習活動を観ていただけたことで、とても有意義な一日になりました。

また分散とは言え、多くの方に来ていただいたことで、密集等心配な面はありましたが、それぞれができる範囲の中で、ソーシャルディスタンスに配慮していただき、ありがたかったです。

ワクチン接種が進んできているとはいえ、まだまだ予断の許さない状態です。今後も感染状況を見極めながらの公開ということになるかと思いますが、保護者の皆様に子どもたちの実際の活動を参観していただける機会を大切にしていきたいと思えます。ご支援・ご協力をお願いいたします。



河川敷への避難訓練

本校としては初めての、河川敷への避難訓練を行いました。想定としては、大地震により本来避難すべき体育館に損傷が見つかった場合の避難です。町からは、本校の体育館について広域避難場所に指定されていることもあり、大地震においても耐震はしっかりしているという見解はいただいておりますが、火災の場合等、体育館への避難が難しい場合もあり、あと1年半はグラウンドへの避難ができないという現状を考えると、課題を探る意味でも必要な訓練だったと考えています。

担当より避難経路等丁寧な計画が出されたこともあり、スムーズに実施することができました。何よりも、子どもたちの真剣な表情、態度が心強かったです。最上級生の6年生が最高の範となり、全校が「命を守る」というめあてに向かって学んでいることが伝わってきました。

課題も多くありますが、校内で共有し、万が一に備えていきます。



第1回 学校評議員会

学校公開と同じ日に、第1回学校評議員会が開かれました。学校運営について、実際に子どもたちの活動を観ていただきながら、ご意見、ご助言をいただくことにより、地域の目線で学校運営の工夫・改善を進めていくための会議です。委員さんは皆、青少年指導員や民生委員の経験者、防犯ボランティアをされている方々ばかりで、子どもたちに寄り添ったあたたかいご意見を多くいただきました。

主な内容としては、

- ・挨拶がよくできることが、いい伝統になっている。先日は卒業した子から思わぬ場所で挨拶をされ、うれしかった。
- ・引っ越しは、必要なものを慎重に取捨選択しながら、教師や子どもの負担にならないように丁寧に計画的に進めていってほしい。
- ・教育の電子化は確かに便利であるが、必ずしもどんどん進めばいいというものでもない。紙ベースの教材（例えば読書等）も大切に、良さを併用しながら推進していけるといい。

などのご意見をいただきました。このような声を大切にしながら、今後も学校運営を進めていきたいと思えます。